

第122回日本眼科学会総会

モーニングセミナー17

主流出路を介する 眼圧下降に迫る！ ～薬物と手術～

日時 2018年4月21日(土) 7:45～8:45

会場 **第10会場** (リーガロイヤルホテル大阪 3階「光琳3」)
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

座長

富田 剛司 先生

東邦大学医療センター大橋病院
眼科 教授



座長のことば

緑内障治療において、唯一確実な治療法は眼圧を下降させることです。近年、薬物としてはROCK阻害薬が臨床応用され、手術では低侵襲緑内障手術を主体とした流出路再建術として、線維柱帯を切開、除去もしくはバイパスするなど、多くの術式が開発されています。これらは主流出路に房水を流すという共通点があり、より有効な眼圧下降療法を模索する上で、非常に興味深いところです。

本セミナーでは、主流出路をターゲットとする薬物と手術にフォーカスを当て、その基礎的・臨床的な観点から眼圧下降療法について皆さんと共に考えてみたいと思います。今後、主流出路の理解がますます深まることを期待しています。

講演1

主流出路の障害と
薬物治療

演者

谷原 秀信 先生

熊本大学大学院生命科学研究部
眼科学分野 教授



講演2

主流出路を介する
手術療法

演者

陳 進輝 先生

北海道大学大学院医学研究院
眼科学教室 診療教授

